



ただし、黄砂には無機質だけでなく枯草菌類、真菌類が付着している場合もあり、これらを原因としたアレルギーによる健康被害が懸念されています。4)

引用文献

- 1)黄砂 (Dust and sandstorm:DSS), 環境省
- 2)市瀬孝道：アレルギー63(8)1085-1094
- 3)「微粒子状物質 PM2.5 に関するよくある質問」, 環境庁
- 4)内藤健晴：アレルギーの臨床 32(11), 2012

\*\*\*\*\*

検査項目 : イムノキャップ 特異的 IgE 検査  
 検体量 : 血清 各0.3 mL  
 容器番号 : 1  
 保存方法 : 冷蔵  
 検査実施料 : 各 110 点  
 検査判断料 : 144 点 (免疫学的検査)  
 所要日数 : 2 ~ 3 日  
 基準値 : 0.34 UA/mL以下

\*\*\*\*\*

〔 2 〕 トキソプラズマ症について

トキソプラズマ (Toxoplasma gondii) はネコを終宿主とする細胞内寄生虫で、ヒトを含む哺乳類や鳥類などの恒温動物を中間宿主にしています。原虫を感染で成立した液性免疫は終生持続するので、妊娠中に母子感染を生じるのは一般に妊婦が初感染の場合です。妊婦の妊娠初期検査費用は基本的には保険診療費ではなく、自費で支払われています。妊娠の高額な負担を考慮して、本症のスクリーニング検査を行わない医療施設が増えているのも現状です。日本産婦人科学会と日本産婦人科医会が共同で編集したガイドラインでも妊娠初期妊婦におけるトキソプラズマ抗体検査のエビデンスレベルを『C』(実施すること等が考慮される)に設定されています。(産婦人科診療ガイドライン—産科編 2008)

妊娠時の母体が初感染すると先天性トキソプラズマ症を起こすことがあるので注意が必要です。また、トキソプラズマ症は発展途上国のみならず欧米や我が国にも分布する先進国型原虫症の一つであり、今後増加する可能性の高い再興感染症として注目されています。

\*\*\*\*\*

検査項目 : トキソプラズマ抗体 IgM  
 検体量 : 0.5 mL  
 容器番号 : 1  
 保存方法 : 冷蔵  
 検査実施料 : 95点  
 検査判断料 : 144 点 (免疫学的検査)  
 所要日数 : 3 ~ 5 日  
 基準値 : 陰性 (－)0.8 S/CO 未満  
 判定保留 (±)0.8~0.9 S/CO  
 陽性 (+)1.0 S/CO 以上

\*\*\*\*\*

検査項目 : トキソプラズマ抗体 IgG  
 検体量 : 0.5 mL  
 容器番号 : 1  
 保存方法 : 冷蔵  
 検査実施料 : 93点  
 検査判断料 : 144 点 (免疫学的検査)  
 所要日数 : 3 ~ 5 日  
 基準値 : 陰性 (－)7.5 IU/mL未満  
 判定保留 (±)7.6~10.4 IU/mL  
 陽性 (+)10.5 IU/mL 以上

\*\*\*\*\*

3 見落としをなくす。不安を減らす。子宮がん検診。

子宮の入り口の頸部にできる子宮頸がんは、子宮がん全体の約60～70%を占めています。また子宮頸がんは女性のがんの中でも4番目に多い病気です。

子宮の頸部の上皮という粘膜の部分に、HPVに感染して変化を起こした細胞が出現し、持続感染した一部のケースで細胞ががん化し、進行すると子宮頸部の深いところまで達したり、周辺に広がったりしていきます。

がんというと怖いイメージをもちますが、決して恐れる病気ではありません。

子宮頸がんの原因はHPVの感染ですが、感染してもそれががん化するまで長い時間がかかるので、その間に子宮頸がん検診による発見が可能です。

そのためにも定期的な検診が重要で主に細胞診という方法で行われています。

最近ではこの細胞診に加え、HPVに感染しているかどうかを調べるHPV検査もあります。

「ASC-US」という判定は、グレーゾーンの状態を指します。すぐに治療が必要な可能性は低いですが、追加の検査や精密検査が必要な場合があります。

子宮頸がん検診の結果が「ASC-US」の場合、保険で「HPV(簡易型判定)検査」が受けられます。

詳しくは下記 URL をご参照下さい。  
<http://www.keihin.gr.jp/image/kml-pdf/HPV2016-05.pdf>

\*\*\*\*\*

検査項目	: HPV 簡易型判定
採取部位	: 子宮頸部擦過物
容器番号	: 61
保存方法	: 冷蔵
検査実施料	: 360 点
検査判断料	: 150 点 (微生物学的検査)
所要日数	: 3～6 日
基準値	: (－)

\*\*\*\*\*

4 KMLインフォメーション 3月～5月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行されました「KMLインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けしておりますが、ご確認などに活用して頂ければ幸いです。

2016年 3月25日 検査内容変更のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2016-0325.pdf>

2016年 4月15日 KML INFORMATION における訂正とお詫び  
[http://www.kml-net.co.jp/pdf/2016-0415\\_02.pdf](http://www.kml-net.co.jp/pdf/2016-0415_02.pdf)

2016年 4月15日 検査内容変更のお知らせ  
[http://www.kml-net.co.jp/pdf/2016-0415\\_01.pdf](http://www.kml-net.co.jp/pdf/2016-0415_01.pdf)

2016年 5月11日 臨床検査総合依頼書 改訂のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2016-0511.pdf>

■ □ = = = = =

☑ 最後までお読み頂きまして有り難う御座いました。

編集／発行 <http://www.kml-net.co.jp/>  
株式会社 京浜予防医学研究所  
〒216-0001 神奈川県川崎市宮前区野川 1432-1

